

1月の園だより

令和6年1月9日

杉並区立西荻北子供園

園長 石床 美穂子

あたたかいまなざしで・・・

園長 石床 美穂子

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

今年、2024年は、「甲辰（きのえたつ）」の年です。「甲」は、十干の一番目の文字で、物事の「はじまり」を象徴し、「辰」は、万物が成長して動きが盛んになる象徴とされています。つまり、2024年は、「物事のはじまり」と「大きな成長」の年と言えます。今年、新しいことに出会い、上り龍のように勢いよく活気あふれる一年になりそうです。

さて、子供園では、今日から全園児が揃い、集大成の3学期が始まりました。ぞう組は、修了式まで保育日数があと49日、くま組・うさぎ組は終業式まで保育日数があと51日です。この数を聞くと、保護者の方々だけでなく、私たち保育者も身が引き締まる思いがします。春には、小学生になるぞう組の子どもたちや年長組や年中組になるくま組・うさぎ組の子どもたち・・・それぞれの保護者の方は、就学や進級に向けて”大丈夫かしら・・・”とお子さんの成長が気になっていらっしゃるかもしれません。

心理学者のアドラーは、『暗いのではなく優しいのだ。のろまではなくていねいなのだ。失敗ばかりではなくたくさんのチャレンジをしているのだ』という言葉を残しています。親は、つい子どもの短所ばかりに目が行ってしまうかもしれませんが、長所と短所は表裏一体であることがよくあります。同じ姿でも、長所・短所のどちらにも捉えられます。あれもこれもできていないと思うのではなく、子どもの姿をあたたかいまなざしでよくみて、育ちを感じたり、“大丈夫だよ、それでいいよ。”と見守ったりすることが、子どもの安心感となり、子どもが自ら育っていこうとする姿につながっていくのではないのでしょうか。

昨年12月に行われた「こどもかい」では、ぞう組・くま組が、おうちの方に劇遊びや歌を見たり聴いたりしていただきました。子どもたちは、当日を楽しみにしながら、先生や友達と練習をしてきました。遊びながら、なりきって動くことを楽しんだり、考え工夫して素敵な劇にしようと張り切ったり・・・どの子もいきいきと活動していました。

当日は、たくさんのお客様でドキドキしながらも、子どもたちは、力を発揮しました。そして、終わったとき、満足感いっぱいな表情でした。それは、お父さん、お母さんたちの「頑張ったね。」「素敵だったよ。」「楽しかったよ。」という気持ちがたくさん拍手となり、子どもたちに伝わったからです。保護者の皆様が、お子さんの素敵などころを感じたと同時に、子どもたち自身も「自分って素敵!」と感ずることができたのだと思います。あたたかいまなざしの力は、大きいですね。

3学期も保護者の皆様と共に、子どもたちの素敵などころを見付け、見守りながら成長を支えていきたいと思ひます。どうぞ、よろしく願いいたします。

子どもたちの様子と今月のねらい

3歳児 うさぎ組

2学期は、「これをやってみようかな」という姿から「これをやりたい」「こうしてみよう」という姿へと変わってきた時期でした。3学期は、安心・安定を大切にしながら、保育者や周りの幼児と一緒に遊ぶ楽しさを十分に感じられるようにします。また、生活面では身の回りのことが自分でできる嬉しさを感じられるよう一人ひとりの姿を認めていきます。2月の子ども会（表現遊び）に向けては、絵本やお話しのイメージを楽しみながら一人ひとりがのびのびと表現する楽しさを感じられるようにしていきます。

<今月のねらい>

- 保育者や周りの幼児と一緒に、やりたい遊びを十分楽しむ。
- 絵本やお話しの世界を楽しみ、自分なりに動いたり表現したりしようとする。
- 冬の生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。

<家庭との連携>

新学期が始まりました。朝は寒く起きづらい季節ですが、生活リズムを整え、9時までにさくら門からの登園できるようにしましょう。また、早寝（幼児期は10時間以上の睡眠が必要です）や丁寧な手洗い・うがいを行い、元気に過ごせるようにして風邪や感染症の対策をしていきましょう。また、鼻水が出た時には、拭くだけでなくかみ方を知らせていき自分でもできるようにしていきましょう。

4歳児 くま組

2学期は友達と一緒に体をたくさん動かして遊び、学級のみんなで一緒に遊ぶことが楽しくなっていました。今月は、コマやカルタなど、正月遊びに興味をもち、友達と一緒にする面白さを感じながら、繰り返し楽しめるようにしていきます。また、園庭で鬼遊びや縄跳び等でたくさん体を動かし、寒さに負けない丈夫な体づくりをしていきます。

<今月のねらい>

- 保育者や友達との再会を喜び、自分のやりたい遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。
- 寒い中でも戸外で運動遊びを楽しみ、体を動かす心地よさを感じる。
- 自分の思いを出す中で、友達や保育者に思いを受け止めてもらう嬉しさを感じる。
- 生活に必要なことを友達と一緒にしようとする。

<家庭との連携>

空気が乾燥する1月～2月にかけては、風邪やインフルエンザなどが流行する時期です。12月にした手洗い指導を振り返り、引き続き丁寧に手洗いが行えるように伝えていきます。お子さんの様子を見ていると、水の冷たさもありませんぐに終わらせる姿があります。是非ご家庭でも保護者の方と一緒にいき、冬を元気に過ごしましょう。

5歳児 そう組

今日から3学期が始まり、そう組で過ごすのも残り3か月を切りました。修了までの間、「子供園で遊んだことが楽しかった!」「小学校が楽しみ!」と感ずることができるよう、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

今月は、コマ回しやけん玉などを楽しむ中で、繰り返し挑戦し、できるようになっていく満足感や達成感を味わえるようにしていきます。また、カルタやすごろく等のお正月遊びをする中で、文字や数字に興味をもてるようにしていきます。音楽会に向けての活動にも取り組んでいきます。

<今月のねらい>

- 自分のめあてに向かって繰り返し挑戦し、満足感や達成感を味わう。
- お正月遊びをする中で、数や文字に興味や関心をもつ。
- 冬の自然に興味や関心をもち、発見を楽しんだり、遊びに取り入れたりする。

<家庭との連携>

小学校に入学することに期待感をもつ幼児が多い一方で、不安や寂しさを感じ、これまでと違う姿が見られることもあります。保護者の方の小学校での思い出話を聞き、期待感をもてるようにするのもいいですね。気になることがありましたら、担任にお知らせください。

ほしグループ 長時間保育

12月は、夕方になると暗くなるのが早くなり、安全面を考慮して早めに保育室に入るようにしていました。園庭では、3学年でむっくりくまさんをして楽しみました。また、くま組やそう組が大縄や氷鬼をしているとうさぎ組の子どもたちも加わり、大縄のへびを跳んだりお兄さんお姉さんと一緒にたくさん走ったりしました。くま組は、大縄で様々な技に挑戦して、何回も跳べるようになると嬉しさを感じ繰り返ししています。そう組は大縄だけでなく短縄でいろいろな跳び方に挑戦したり、友達と跳ぶ順番や何を跳ぶかなど相談しながら縄跳びショーを開き、他学年の幼児や保育者に見せてくれたりしました。

室内では、クリスマス製作をしました。大きなツリーに、思い思いの飾りをつくって華やかなツリーが完成しました。

1月は寒さが厳しくなってきます。園庭に出る前には、準備体操をするなど体を温めてから園庭で遊べるようにしていきます。